



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.15

「徳島市医師会在宅医療支援センター」

今回は、在宅医療整備に力をそそぐ徳島市医師会在宅医療支援センターを紹介します。

■ 住み慣れた地域で 安心して生活するために

2025年には、3人に1人が65歳以上を迎える徳島市。超高齢社会を迎えるにあたり、徳島市医師会では、徳島市と連携し、在宅医療と介護の連携促進のために、様々な取り組みを行っています。その取り組みの1つとして「徳島市医師会在宅医療支援センター」があります。

徳島市医師会在宅医療支援センターは、在宅主治医がいない患者さんに対し、在宅主治医を紹介する窓口として平成22年5月に開設されました。その役割は、急性期病院や一般病院などから在宅主治医の紹介依頼があった際、あらかじめ登録されている在宅療養支援診療所44機関で構成する徳島市医師会在宅医療ネットワーク(TIZI-NET)の中から、患者さんの居住地などに応じて在宅主治医を紹介するものです。

さらに、平成26年4月からは、「在宅医療相談窓口」を開設し、在宅医療についてどこに相談していいのかわからない、自宅で療養したいが主治医が見つからないなど、在宅医療

に関する不安や悩みごとについて、専門の相談員が対応しています。また、高齢者に関することで、個別対応が必要な際には、徳島市医師会が運営する徳島市地域包括支援センターと連携した支援を行います。

■ 在宅医療を人生の新しい選択肢に

徳島市医師会在宅医療支援センターは、在宅医療を希望する患者さんに対して、病院と地域のかかりつけ医を繋ぐという機能の強化を目指し、徳島大学病院とも連携していきたいとのことでした。

医療の技術や医療機器の進歩のおかげで、医師・看護師・ケアマネジャーなどのサポートをうけながら在宅で治療を受ける事も可能です。病院機能と在宅医療をうまく組み合わせる事で、より質の高い療養生活を送ることができます。

今後はさらに、在宅医療の認知度を高め、住み慣れた地域で療養できるという選択肢を一つ増やし、一人でも多くの患者さんに自分らしい生活を送ってもらいたい。と意気込みを語ってくれました。

「地域医療連携」 について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■ 問い合わせ
徳島市医師会在宅医療支援センター
徳島県徳島市幸町3-61
Tel.088-625-3960

■ 説明は、
左から
加藤 直樹 (かとう なおき)
遠藤 静香 (えんどう しずか)
三島 智美 (みしま ちえみ)